

探究講座②「探究活動での文献検索の仕方」

1. 本時の目標

- ・研究テーマに適した研究方法（文献調査、実験等）を選択する重要性を理解する。
- ・学術データベース（CiNii, Google Scholar, J-STAGE）を活用し、信頼性の高い論文を自力で検索・入手できるスキルを習得する。
- ・「孫引き」や「語彙の獲得」を通じて、調査を深める手法を学ぶ。
- ・RefNavi 等のツールを用い、引用の倫理規定に基づいた情報の蓄積・管理方法を習得する。

2. 本講座で生徒に身につけて欲しいコンピテンシー

生徒が自身の研究テーマに最適な探究手法を自律的に選択できる判断力を養うことが重要である。学術データベースを自在に使いこなし、信頼性の高い一次情報にアクセスする高度な情報リテラシーを習得させる。先行研究から専門用語を読み取る「語彙の獲得」や「孫引き」の手法を通じ、思考の枠組みを広げ論理的に問いを深める探究的態度を身につける。また、出典の明記や倫理規定を遵守する誠実な研究倫理を育む。これらを通じ、自立した学習者として自らのキャリア形成に繋げる姿勢を構築する。

3. 本時の展開

探究講座②「探究活動での文献検索の仕方」1 時間目

時間	学習の内容	教材・留意点
0	出欠確認 授業者自己紹介（A.Y 先生）	スライド 「語彙を獲る」意識を強調 Google Form アンケート
5	適切な研究方法を選ぼう ・5 つの研究方法（文献調査、実験、アンケート等）の提示	
15	活動①インターネットで論文を探そう ・CiNii, Google Scholar, J-STAGE の紹介 ・論文から読み取るべき項目（背景、目的、方法等） ・「孫引き」と「語彙の獲得」のテクニック	
30	活動②本を探し、情報を蓄積する ・新書マップ、NDL サーチ、学校電子図書館の活用 ・RefNavi（レフナビ）の活用 ・端末カメラによる ISBN 撮影と情報管理	
45	プチ探究のルールと倫理 ・論理的探究、引用の明記、倫理規定の遵守 ・その他ツール（統計、新聞記事）の紹介	

参考：レフナビ (<https://www.refnavi.net/wp/>)